

平成 31 年度（令和元年度）事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人日本フリークライミング協会

1 事業の成果

本年も、岩場整備を中心に行なうと同時に、岩場の地権者調査と許可の取り付けなど各地のアクセス関係の問題への対応をおこなった。

長野県佐久市の通称「佐久の岩場」の開放公開に向けて地権者との交渉支点整備を進め、一定の成果をあげた。

また長野県南佐久郡川上村の通称「ガマスラブ」付近で発生した土砂崩れによる倒木の撤去作業を、クラウドファンディングで募った寄付金によって実施した。

会報を二回発行し、さらに本年は無料配布の冊子（安全ブック）を改訂発行した。

ウェブサイト、SNS を通して各種情報を発信した。

競技関係では競技会 1 回、ユース選手育成行事を 2 回実施した。

2 事業内容

（1）特定非営利活動に係る事業

① フリークライミングを行う上での安全及び事故防止のための支援に関する事業

内 容：全国各地の岩場の支点整備の実施と資材の提供、整備技術の普及

日 時：通年

従事者数：延べ 128 名

対象者：会員、一般

費用額：7,812,776 円

② フリークライミングを行える岩場の保全のための支援・援助に関する事業

内 容：岩場の所有者調査、公開に向けての交渉、トイレの設置と管理、現況確認など

日 時：通年

従事者数：延べ 30 名

対象者：会員、一般

費用額：285,268 円

③ フリークライミング及び日本全国のフリークライミングを行える岩場についての情報の提供に関する事業

内 容：会報の発行、会員/一般向け配布物（安全ブック）の制作/配布、ウェブサイト、SNS による情報の提供

日 時：会報（freefan）の発行は 4 月（79 号）、12 月（80 号）の 2 回、安全ブック 5（12 月）。ウェブサイト、SNS は通年

従事者数：延べ 20 名

対象者：会員、一般

費用額：5,701,049 円

④ 若手クライマーの育成・養成及びその支援に関する事業

内 容：大会成績に基づいて有望な若手選手を強化選手として指定し、協クライミングジムの優待利用を可能とする事業

指定期間：令和2年1月1日～令和2年12月31日

従事者数：2名

対象者：会員、一般 20名

内 容：若手クライマーを対象とした講習会（アスリートレッスン）の開催

日 時：4月3日、8月14日、1月2日

会 場：4月4日 埼玉県越谷市 Be born Climbing Gym
1月2日 東京都江東区 フィッシュ&バード

従事者数：のべ6名

対象者：会員、一般

4月4日 14名、1月2日 22名

費用額：398,608円

⑤ フリークライミングの各種競技会の企画・開催に関する事業

内 容：第5回全日本マスターズクライミング選手権大会2019の開催

日 時：4月28日

会 場：千葉県印西市 印西市松山下公園総合体育館

従事者数：23名

対象者：会員、一般 46名

費用額：389,890円

⑥ フリークライミングを行う個人・団体等との協力・支援に関する事業
実施せず

⑦ フリークライミングの普及・啓発に関する事業

内 容 アークテリクスサッポロファクトリー店ボルダリングイベント募金活動協力

日 時 7月25日

従事者数：1名

対象者 会員、一般

費用額 22,000円

(2) その他の事業

① フリークライミングについての書籍・資料等の出版・販売に関する事業
実施せず